

講義名	経営学入門【商学部：1年生のみ】			
担当教員	調整中			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要

経営学の初學者を念頭に置いて、企業や経営についての基礎的知識や理論を解説する。具体的には、組織論、戦略論、マーケティング、会計などの、「経営学」を構成する領域を取り上げ、教科書レベルの基本的な解説を行う。また、必要に応じて、若干の発展的内容や事例の紹介を加えていく。経営学の主要なことからを体系立てて学ぶことで、自分なりの経営学の見取り図を持つこと、さらには専門的な学びへの意欲を高めることを目指す。

到達目標

(1) 経営学の基礎的知識を身につけることができるようになる。
(2) 企業経営に関するさまざまな現象を、学んだ知識を使って説明できるようになる。
(3) 経営学のさまざまな領域のなかから、より深く学びたい分野を見つめられるようになる。

提出課題

- 毎回の授業において、その日の内容に関する小テストを実施する。
- 授業の内容と関連つけた論述を求めるレポート課題を、2~3回程度提示する。

担当教員が確定後に変更する可能性がある。詳しくは、初回授業にて案内する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

各課題については、提出期限後の授業にて全体向けに講評と補足解説を行う。

評価の基準

授業回ごとの小テスト20%、レポート課題20%、定期試験60%

担当教員が確定後に変更する可能性がある。詳しくは、初回授業にて案内する。

履修にあたっての注意・助言他

他の受講生の迷惑となる行為（私語、飲食、講義途中の無断での入退出、ゲーム・動画の視聴など）は厳禁とし、違反者は厳重に対応する。場合によっては退出を命じることもある。

教科書				
.1からの経営学（第3版）.	加護野忠男・吉村典久	碩学舎	2640	9784502375217

プリント資料及び参考文献

<講義資料>
配付方法については、初回授業までに別途案内する。
<主な参考文献>
上林憲雄・奥村康司・團泰雄・開本浩矢・森田雅也・竹林明（2018）『経験から学ぶ経営学入門 第2版』有斐閣。

授業計画

01. 企業経営の全体像
02. 経営学の全体像
03. 企業と会社
04. 企業とインプット市場との関わり
05. 企業とアウトプット市場との関わり
06. 競争戦略のマネジメント (1)
07. 競争戦略のマネジメント (2)
08. 多角化戦略のマネジメント
09. 国際化のマネジメント
10. マクロ組織のマネジメント
11. ミクロ組織のマネジメント
12. キャリアデザイン
13. 経営学の広がり (1)
14. 経営学の広がり (2)
15. 全体のまとめと補足解説

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

<予習>
教科書および講義資料を通読し、その授業回の主なトピック、キーワードを確認しておくこと。30分程度。
<復習>
講義資料には概略のみを記載しているので、教科書や参考文献を参照しながら詳細を補完すること。
また、各種メディアでの企業経営に関する報道に触れ、講義で学んだことが実際の企業経営や自身の職業生活にどのように役立つのかを考えること。合わせて90分程度。
これらのほか、レポート課題に関連する取り組みに、合わせて30時間程度を要する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「現代社会の諸問題について、経営学的な視点から考察し、課題を提案することができる基礎知識」を身につける科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 小テスト課題・レポート課題は、responなどのオンラインツールを使用する。
- 授業内での発言を求めることがある。積極的な授業参加を期待する。

実務経験の有無及び活用

備考

- 新型コロナウイルス感染症の感染者または濃厚接触者に指定された場合は、通学禁止期間の授業をオンデマンド形式で受講し、課題提出できるようにする。その方法は、当該受講者に対してその都度案内する。
- 新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が行われる可能性がある。修正する場合には、後期開始までに別途案内する。